

第7回 幌延町議会 定例会 9月16日~17日

9月16日より定例会が行われ、行政報告、平成26年度決算の認定、報告3件、同意1件、議案11件、発議4件等を審議の結果、原案どおり全てを可決し、17日に閉会した。

質疑の主なものは、次のとおり。

- ◎議案第1号 幌延町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
(質)初回交付手数料が当面の間無料と委員会で説明があったが、いつまでという考えなのか。
(答)失くした場合、再交付手数料がかかるが、有効期限の10年が切れた後については、国ではつきりした考えを示していない。
(質)再交付手数料800円の内訳は。
(答)作成費用、郵送経費等で、国から示された原価で設定している。

- ◎議案第6号 平成27年度幌延町一般会計補正予算
(質)旧中央保育所を物品庫とするということだが、どのような物を納めるのか。
(答)主に防災関係の食糧、毛布などと、各課の物品。
(質)旧中央保育所だと、管理や警備の人がいない。管理面はどうなるのか。
(答)施設だけの管理になる。再度検討して簡単に入れないうよう考える。
(質)物品庫として、旧保育所をどのくらいの期間使用するのか。
(答)中央保育所が使えるまで。
(質)補修しながらでも使うのか。
(答)お金がかかる補修が必要となれば、その時点で考える。
(質)基金の使い道等の町長の考え方は。
(答)それぞれの基金の名目にあてて、基金をどのように使うかということを経済と相談しながら、メリハリをつけた財政運営をしていければと考えている。
(質)空き家・空き地現状調査をして、どう利用したいと

いう考えなのか。
(答)売買の斡旋だったり、売る売らないの可否等、民間業者に意向確認の調査をしてもらう。どういう形であったら町として利用価値があるのかも含め、今後検討する。

◎議案第8号 平成27年度幌延町国民健康保険特別会計補正予算
(質)出産一時金の増額内容は。

(答)当初予算で2名分84万円を計上したが、決算見込みで5名を予定。その内1名は予備費で対応し、残り2名分84万円を増額補正した。
(質)特定健康診断はなぜ減額されたのか。
(答)当初2百60名分予定していたが、1百39名の実施となった。電話等で実施勧奨もしているが、今後もPRに努めていきたい。

◎発議第1号 幌延町議会会議規則の一部改正について
議会における欠席の届出の取扱いに関して、出産の場合の欠席届について新たに規定する。

◎発議第2号 幌延町議会傍聴規則の一部改正について
議会傍聴席に持ち込むことを禁止していた「杖」を削除し、また、「児童及び乳

幼児は傍聴席に入ることが出来ない。但し、議長の許可を得た場合はこの限りではない。」とある規定も、開かれた議会を目指す考えから削除する。

行政報告―町長

①幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
今年1月に創生本部を立ち上げ、22名の町民の皆様による創生会議をこれまで4回開催し、人口ビジョンの原案、総合戦略の骨格をまとめた。今後、パブリックコメント等を行い、10月末の完成を目指す。

②幌延町表彰条例に基づく町民顕彰について
町民の誇りと自信を高めるとともに、豊かな心と実践力を育むことを目的とし、町民の善行又は努力に対する顕彰を本年4月から実施することとした。7月8日に、本年度第1回の表彰者15名に

表彰状贈呈を行った。受賞者は、小学生の登校の見守り活動を実践された方、町内で発生した火災の初期消火や消火活動に協力された方々、長年にわたり保育所の行事にプレセントを寄付された方である。

教育行政報告―教育長

①学校教育では、中学校体育文化連盟等主催の各種大会に幌延・問寒別の各中学校から生徒が出場し、日頃の練習の成果を發揮した。
②社会教育では、夏休み中、子ども達の望ましい生活習慣の定着を図るため、朝活事業を開催した。